

北薩感染症情報

2019年第30週(7月22日~7月28日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1
北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課
電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127
E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル		注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	-	-	-	→	-	1	-	-	↓	-
小児科 定点	RS	-	-	-	1	-	-	↓	-	-	-	-	→	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	3	2	0.50	↓	-	2	5	1.67	↗	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	3	3	0.75	→	-	2	5	1.67	↗	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	7	5	1.25	↓	-	4	3	1.00	↓	-
	水痘	2.0	1.0	1.0	1	1	0.25	→	-	-	1	0.33	↗	-
	手足口病	5.0	2.0	-	7	7	1.75	→	-	4	4	1.33	→	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	4	4	1.00	→	-	5	3	1.00	↓	◎
	突発性発疹	-	-	-	3	4	1.00	↗	-	3	1	0.33	↓	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	3	3	0.75	→	-	3	2	0.67	↓	-
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
眼科 定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	4	1	1.00	↓	-	/	/	/	/	/
基幹 定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
インフルエンザ 入院報告	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに属する	-	-	-	-	-	-	→	-	1	-	-	↓	-
		-	-	-	-	-	/	/	-	-	/	/	/	-
報告数合計		-	-	-	36	30	/	↓	/	25	24	/	↓	/

<注意報・警報>

- 川薩保健所管内 流行性角結膜炎が(終息基準4以下の1.00となったため警報を解除します)
- 出水保健所管内 伝染性紅斑(警報11連続発令中)

<全数報告>

- 川薩保健所管内 結核(患者1人), 百日咳(患者1人)
- 出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- 川薩保健所管内 なし
- 出水保健所管内 なし

鹿児島県子ども予防接種週間について

令和元年8月1日(木)から8月8日(木)までの8日間を「鹿児島県子ども予防接種週間」とし、鹿児島県医師会、鹿児島県小児科医会及び本県の主催で実施します。

1 目的

保護者をはじめとした県民の予防接種に対する関心を高め、予防接種の向上を図る。また、8月4日を「はしかの日」とし、同日を含む1週間を予防接種週間に定め、「はしか」を中心に予防接種で防げる感染症の撲滅に努める。実施医療機関については鹿児島県医師会ホームページで確認してください。

(鹿児島県医師会 <http://www.kagoshima.med.or.jp/people/osirase/kodomo-yobou/index.htm>)

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.43	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-
小児科定点	RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.25	-
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	2.50	2.25	1.00	0.75	0.75	1.00	0.75	1.25	0.75	0.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	3.00	2.50	1.75	1.75	2.00	1.50	0.75	0.50	0.75	0.75
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	4.00	3.50	3.50	2.75	1.50	3.00	0.75	0.50	1.75	1.25
	水痘	2.00/1.00	1.00	1.25	0.25	0.50	0.50	-	1.00	-	0.50	0.25	0.25
	手足口病	5.00/2.00	-	21.75	30.25	34.50	20.00	10.50	3.00	3.00	2.00	1.75	1.75
	伝染性紅斑	2.00/1.00	-	1.00	1.00	1.25	-	1.50	1.00	1.50	1.50	1.00	1.00
	突発性発疹	-	-	1.00	0.50	0.75	1.25	0.75	1.00	0.75	0.75	0.75	1.00
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	1.00	0.25	-	-	-	0.25	-	0.75	0.75	0.75
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	3.00	8.00	8.00	6.00	6.00	9.00	4.00	4.00	4.00	1.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.20	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-
小児科定点	RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	1.33	0.67	0.33	1.00	0.67	0.33	0.33	-	0.67	1.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	0.67	2.00	2.00	1.33	1.33	1.00	1.33	1.00	0.67	1.67
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	7.67	12.00	7.67	6.00	3.00	1.00	2.00	2.00	1.33	1.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	1.67	0.33	0.67	0.67	0.67	0.33	-	1.33	-	0.33
	手足口病	5.00/2.00	-	11.33	19.00	20.67	9.33	9.33	3.33	5.33	2.33	1.33	1.33
	伝染性紅斑	2.00/1.00	-	1.00	1.00	3.00	1.33	5.00	3.33	1.67	3.33	1.67	1.00
	突発性発疹	-	-	-	1.00	0.33	-	-	0.33	0.33	1.00	1.00	0.33
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.33	1.67	1.00	2.00	1.67	0.33	1.33	0.67	1.00	0.67
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	-	-	-	-	-	0.33	0.33	-	-	-
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	1.00	-	-	3.00	1.00	1.00	-	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	3.00	-	2.00	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-

(注意報・警報)

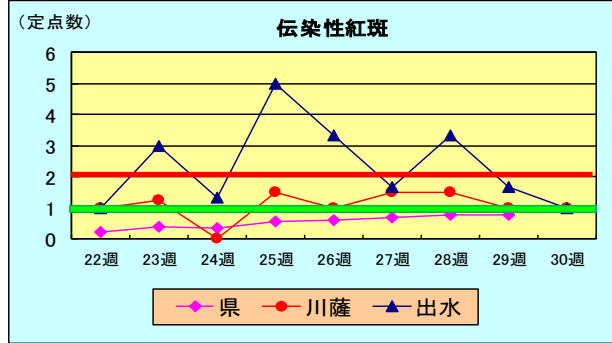
○伝染性紅斑について

【警報開始基準値 2.0, 警報終息基準値 1.0】

第30週の伝染性紅斑の発生状況は、川薩保健所管内からは、先週と同様4名(定点あたり報告数1.00)の報告でした。

出水保健所管内からは、3名(定点あたり報告数1.00)の報告があり、**警報が11週連続継続中です。**

(第30週は川薩・出水のみ掲載)

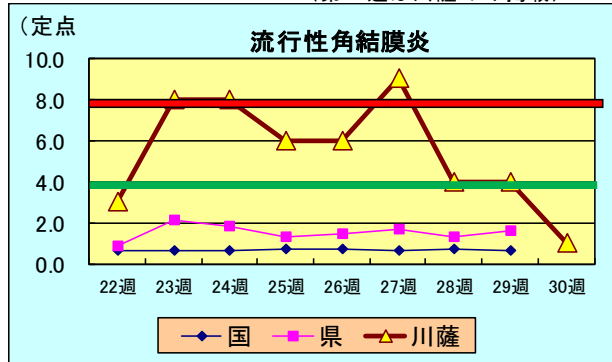


○流行性角結膜炎について

【警報開始基準値 8.0, 警報終息基準値 4.0】

第30週の流行性角結膜炎の発生状況は、川薩保健所管内からは、1名(定点あたり報告数1.00)の報告がありました。**警報終息基準4以下となり、警報を解除します。**

(第30週は川薩のみ掲載)



注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症の予防について

◆ 腸管出血性大腸菌感染症とは？

腸管出血性大腸菌感染症はベロ毒素という毒素をだす大腸菌による感染症です。

無症状や軽症で終わる場合もありますが、主に水様の下痢、激しい腹痛、血便、嘔吐や38℃台の発熱等の症状が現れます。中には溶血性尿毒症症候群(HUS)をひきおこし、小児や高齢者では致命的となるケースもあります。

感染から発病までの潜伏期間はおおよそ3～5日です。

◆ 腸管出血性大腸菌感染症を防ぐには？

1 食品の保存や調理について

- ・食材はよく洗いましょう。
- ・腸管出血性大腸菌は、75℃、1分間の加熱(食品の中心温度)で死滅します。調理にあたっては十分な加熱を行いましょう。
- ・食肉を生そのまま食べることは控えましょう。
- ・生肉などがふれたまな板、包丁、食器類は熱湯などで十分消毒しましょう。
- ・調理した食品は早めに食べましょう。冷蔵庫、冷凍庫を過信しないようにしましょう。

2 飲料水の衛生管理について

- ・井戸水などの生水は、必ず煮沸してから飲みましょう。

3 手洗いについて

- ・帰宅時,調理前,調理中,食事前,用便後は手洗いを十分にしましょう。
- ・調理中,食材を変えたときには必ず手洗いをしましょう。
- ・動物との接触後は手を洗いましょう。

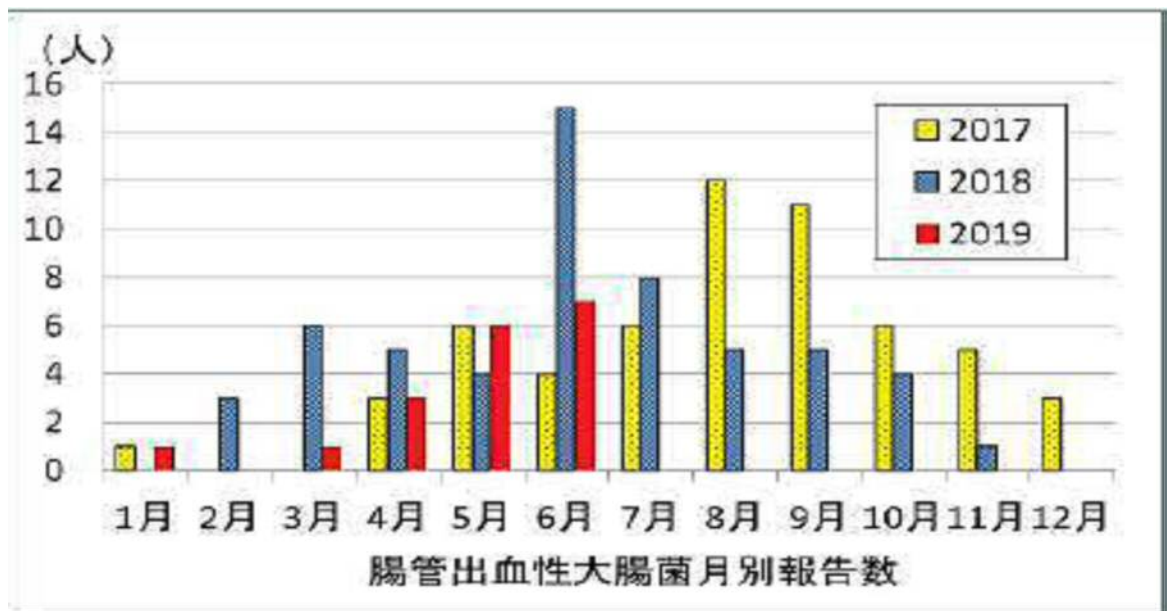
4 その他

- ・保育施設等においては日頃からの注意としておむつ交換時の手洗い,園児に対する排便後・食事前の手洗い指導の徹底が重要です。
また,夏期は簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要があります。
- ・乳幼児が口に運ぶおもちゃなどは,きれいに拭き必要に応じて消毒をしましょう。

◆ 手洗いの方法は?

- ① 指輪や時計をはずす。
- ② 液体石けんを泡立てて,爪先にも気をつけて20秒以上もみ洗いする。
- ③ たっぷりの流水ですすぐ。
- ④ ペーパータオルか清潔なタオルでふく。
(下痢をしている人は専用のタオルを使いましょう)

下記のグラフは,2017年から2019年の鹿児島県全体の報告数です。6月～9月の暖かい季節に報告が多い状況です。2019年は5月から現在まで,川薩保健所2人,出水保健所3人の報告がありました。



(鹿児島県感染症情報第23週報)